



### 新型コロナウイルスで出演の機会を奪われている

## 演奏家を応援しよう

# 宗次ホール演奏家応援企画第2弾



DVDの映像を動画共有サイトにアップロードするなど複製する行為は固く禁じます。

宗次ホールは6月よりコンサートを段階的に再開しておりますが、感染はいつまた拡大するか予断を許さない状況です。当面の間、客席定員を減らし90名としています。そのため電話予約をおすすめしています。事前の予約がない場合、席が用意できない場合もあります。

日本ユーラシア協会愛知

支店



ウクライナ産ボルシチの素

## 「ボルシチとバラジュースのゼリー」

### おいしい料理とデザートを作ってみませんか

#### ユーラシア物産を使って

ウクライナ産ボルシチの素 210g 560円

ウクライナ産ボルシチの素は、肉が柔らかくなると作れます！

ボルシチの作り方(本品で5人分)

材料

ボルシチの素 1瓶 250g

水 1000cc

肉(牛肉または豚肉) 100g

じゃがいも(中サイズ) 2〜3個

キャベツ 4分の1個

鍋に水を入れ、肉を加えて沸騰したら、弱火でゆでる。

肉が柔らかくなったら取り出して、食べやすい大きさに切る。

じゃがいもは皮をむいて、一口サイズに切った鍋に入れる。

じゃがいもが柔らかくなってきたら、キャベツを切って、鍋に入れる。切った肉を鍋に戻す。

ボルシチの素を鍋に入れて、2分ほど煮たら出来上がり。

お皿にボルシチを盛り、お好みでスメタナをかけ、ウクロープ(ディル)を刻んで振りかけるといい香りがします。

黒パンと一緒に食べると一層おいしくいただけます。



ブルガリア産バラジュース

## 「雪原にひとり囚われて」

### 無実の罪でシベリア抑留された女性の記録

#### 書籍紹介

女性でシベリアに抑留された坂間文子氏の抑留記録

彼女は大連で生まれ、育ち、1943年から大連のソ連参戦し、満州はソ連軍に占領された。9月2日、ソ連軍の将校に振袖を送る際の通訳をし、その翌日逮捕。家宅搜索をされ、臨時釈放される日 一九五〇

姓名 赤羽文子 刑期 五年

積放される日 一九五〇

その紙には次のように書かれていた。

大連から奉天(現在の瀋陽)の臨時監獄へ送られ、更に馬の輸送用の貨車に乗せられてチタへ送られる。

終るとラーゲルに戻って、屋敷。黒パンとスープのほかに、お玉杓子に軽く一杯の粥がつく。午後1時に再び作業が始まる。仕事が終わるのは5時だった。それから自由の時間になる。

1950年7月、突然アクモリンスク・ラーゲルへ送られ、模範ラーゲルへ送られた。9月になって、衝動的なニュースを聞いた。

ソ連では、58条組の政治犯は、刑罰が終わっても、更にシベリアへ流刑されるのが普通であるという。流刑地にはラーゲルはなく、自由と同じ暮らしで、ただ、住む範囲が限られていて、そこから外へ行けないだけという。

12月になってようやく流刑の書類が渡された。「赤羽文子」を流刑に処する。ドモスト地区で服役せよ。その地区から脱走を企てた場合は、法によって処刑する。

「雪原にひとり囚われて」 坂間文子著 講談社

1975年8月8日発行

現在絶版となっている

復刊ドットコム 2016年6月10日発行 3200円+税 (田口龍司)

村では雪かきの仕事をした

裁判もないのか!? 人定り、事務所の掲示板を書く

質問も、罪状の認否も、証人の喚問も!

チタの監獄を出され、1946年9月4日にカザフスタンのアクモリンスク・ラーゲルに着いた。ここで刺繍工場で働いた。6時に起床、7時には仕事に出る。午前10時に休憩があり、お茶を飲む。お茶は、お玉杓子に軽く一杯の粥がつく。午後1時に再び作業が始まる。仕事が終わるのは5時だった。それから自由の時間になる。

1950年7月、突然アクモリンスク・ラーゲルへ送られた。9月になって、衝動的なニュースを聞いた。ソ連では、58条組の政治犯は、刑罰が終わっても、更にシベリアへ流刑されるのが普通であるという。流刑地にはラーゲルはなく、自由と同じ暮らしで、ただ、住む範囲が限られていて、そこから外へ行けないだけという。

12月になってようやく流刑の書類が渡された。「赤羽文子」を流刑に処する。ドモスト地区で服役せよ。その地区から脱走を企てた場合は、法によって処刑する。

「雪原にひとり囚われて」 坂間文子著 講談社

1975年8月8日発行

現在絶版となっている

復刊ドットコム 2016年6月10日発行 3200円+税 (田口龍司)

村では雪かきの仕事をした

裁判もないのか!? 人定り、事務所の掲示板を書く

質問も、罪状の認否も、証人の喚問も!

チタの監獄を出され、1946年9月4日にカザフスタンのアクモリンスク・ラーゲルに着いた。ここで刺繍工場で働いた。6時に起床、7時には仕事に出る。午前10時に休憩があり、お茶を飲む。お茶は、お玉杓子に軽く一杯の粥がつく。午後1時に再び作業が始まる。仕事が終わるのは5時だった。それから自由の時間になる。

1950年7月、突然アクモリンスク・ラーゲルへ送られた。9月になって、衝動的なニュースを聞いた。

ソ連では、58条組の政治犯は、刑罰が終わっても、更にシベリアへ流刑されるのが普通であるという。流刑地にはラーゲルはなく、自由と同じ暮らしで、ただ、住む範囲が限られていて、そこから外へ行けないだけという。

12月になってようやく流刑の書類が渡された。「赤羽文子」を流刑に処する。ドモスト地区で服役せよ。その地区から脱走を企てた場合は、法によって処刑する。

「雪原にひとり囚われて」 坂間文子著 講談社

1975年8月8日発行

現在絶版となっている

復刊ドットコム 2016年6月10日発行 3200円+税 (田口龍司)

村では雪かきの仕事をした

裁判もないのか!? 人定り、事務所の掲示板を書く

質問も、罪状の認否も、証人の喚問も!

チタの監獄を出され、1946年9月4日にカザフスタンのアクモリンスク・ラーゲルに着いた。ここで刺繍工場で働いた。6時に起床、7時には仕事に出る。午前10時に休憩があり、お茶を飲む。お茶は、お玉杓子に軽く一杯の粥がつく。午後1時に再び作業が始まる。仕事が終わるのは5時だった。それから自由の時間になる。

1950年7月、突然アクモリンスク・ラーゲルへ送られた。9月になって、衝動的なニュースを聞いた。

ソ連では、58条組の政治犯は、刑罰が終わっても、更にシベリアへ流刑されるのが普通であるという。流刑地にはラーゲルはなく、自由と同じ暮らしで、ただ、住む範囲が限られていて、そこから外へ行けないだけという。

12月になってようやく流刑の書類が渡された。「赤羽文子」を流刑に処する。ドモスト地区で服役せよ。その地区から脱走を企てた場合は、法によって処刑する。

「雪原にひとり囚われて」 坂間文子著 講談社

1975年8月8日発行

現在絶版となっている

復刊ドットコム 2016年6月10日発行 3200円+税 (田口龍司)

村では雪かきの仕事をした

裁判もないのか!? 人定り、事務所の掲示板を書く

質問も、罪状の認否も、証人の喚問も!

チタの監獄を出され、1946年9月4日にカザフスタンのアクモリンスク・ラーゲルに着いた。ここで刺繍工場で働いた。6時に起床、7時には仕事に出る。午前10時に休憩があり、お茶を飲む。お茶は、お玉杓子に軽く一杯の粥がつく。午後1時に再び作業が始まる。仕事が終わるのは5時だった。それから自由の時間になる。

1950年7月、突然アクモリンスク・ラーゲルへ送られた。9月になって、衝動的なニュースを聞いた。

ソ連では、58条組の政治犯は、刑罰が終わっても、更にシベリアへ流刑されるのが普通であるという。流刑地にはラーゲルはなく、自由と同じ暮らしで、ただ、住む範囲が限られていて、そこから外へ行けないだけという。